

# なかこくだより

学校教育目標 にこにこ ハピネス 中国分小

～子どもと地域のウェルビーイングを目指して～



なかこくブログ

学校だより 第10号  
令和6年1月19日  
市川市立中国分小学校  
校長 木村 裕児

## よりよい学校を目指して

新しい年がスタートしました。

今年も正しい児童理解のもと教育活動を行ってまいります。

12月に学校評価（保護者アンケート）を実施しました。6月に実施した結果と比較、分析し今後の改善のポイントをまとめました。ご一読ください。



※表内の数値は肯定的評価の割合（％）です。（小数点以下は四捨五入）

項目	内容	中国分小学校	
		R5	R5
		6月	12月
確かな学力	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	88	88
	お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる	64	66
	お子さんは家庭学習の習慣が身についている。	74	71
改善のポイント 今年度、教科書に加えて学校図書館の本を活用し学びを進めてきました。自分からわからないことを調べる意欲に向上が見られました。家庭学習の習慣化には課題があります。学校での学びが放課後の学びにつながるよう指導を工夫してまいります。			
豊かな心	お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつしている。	82	82
	お子さんは、自分の役割に責任をもって取り組んでいる。	89	89
	お子さんは誰とでも優しく関わっている。	96	96
改善のポイント 教師がお子さんを正しく理解し教育活動を進めていくことをこれからも続けていきます。その際、保護者の方と連携を密にとることが大切であると実感しています。今後も正しい児童理解のためにご協力をお願いいたします。			

健やかな体	お子さんは、すすんで（外で遊ぶなど）体を動かしている。	82	73
	お子さんは、自らの安全（交通事故・けがなど）に気を付けて生活をしている。	88	88
	お子さんは、規則正しい生活習慣（睡眠・食習慣など）が身についている。	87	87

改善のポイント

外遊びの項目の数値の低下が気になります。気温の低下とも関係があるのでしょうか？冬はなわとびを活用し克服型のスポーツにチャレンジします。挑戦してできたことを大いに褒め、子どもの意欲を高めていきます。

信頼される学校	学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるよう努めている。	89	87
	学校は、保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取組を進めている。	85	89
	学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。	92	90
	学校は、特色ある取組や教育を進めている。	66	76
	学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている。	80	84

改善のポイント

「にこにこハピネス中国分小」は子ども、地域にあまり浸透しませんでした。次年度に向けて学校教育目標の立て方を含め検討します。学校は保護者と連携して子どもを育てていますが、この部分はある程度評価をいただいていると感じています。しかし大切なお子さんをお預かりしている以上これで十分というところはありません。可能なかぎりお子さんのよさを認め、指導に生かしてまいります。

※学校独自項目

内容	6月	12月
学校は、手紙・メール・ホームページ等を活用し情報を適切に提供している。	93	96
学校は、けがや交通安全、不審者への対応等、子どもの安全に気をつけて生活できるように指導している。	92	96
学校は、いじめの未然防止や早期発見について対策を講じている。	76	81
学校は、あいさつとあたたかいことばかけを大切にしている。	92	91

改善のポイント

- ・ペーパーレス化は学校だより等限定的な取組で終わってしまいました。改善いたします。
- ・いじめの対応については、いじめアンケートや教育相談を通して適切な対応を行い、経過観察を含め解消率100%を目指しています。
- ・教職員の言葉の使い方についてご指摘をいただいています。正しい言葉使いをおこなうよう教職員同士、声をかけあっています。これからも教職員の気になる言葉使い等ありましたらお知らせください。

毎日更新中！ なかこくブログ  
ぜひご覧ください

